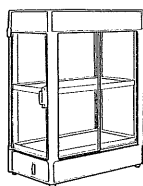


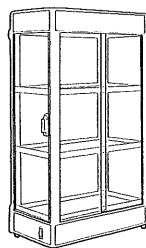
この度は「全自動カンウォーマー」を、お買い求め
いただきましてありがとうございました。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

全自動

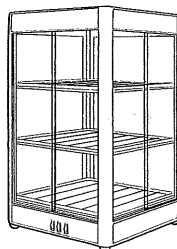
カンウォーマー



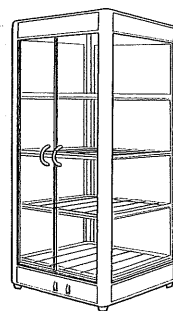
CW36-R2



CW54-R3



CW108-L3



CW144-L4

目次

1. 安全上のご注意	1
2. 各部の名称	3
3. カンウォーマーの設置	6
4. カンウォーマーの使い方	6
5. 安全装置について	7
6. お手入れのしかた	7
7. ご使用にならない場合	8
8. 仕様表	8
9. 困ったときは	9
10. アフターサービスについて	10

保証書

最終ページに保証書がついておりますので、
大切に保管してください。

販売元 **日本ヒーター販売株式会社**

製造元 **日本ヒーター機器株式会社**

※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。また本取扱説明書では注意事項を記載する上で、誤った取扱いをしたとき、その危険の程度から「警告」及び「注意」の2つに分けて示しています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、危険・警告・注意を促す内容を示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為を示しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。











●記号は、必ず行っていただきたいことを示しています。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。






設置するとき

警告	「交流100ボルト」以外の電圧で使用しないでください。――→ 発火や感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。――→ 発火や感電の恐れがあります。
	「水平で丈夫な台」の上に置いてください。――→ 落下してケガをする恐れがあります。
	アース線は、下記のものには接続しないでください。――→ アースが不完全となり、感電の恐れがあります。 ガス管、水道管、アンテナ端子、電話端子、避雷針
	下記のもの近くに本体を設置しないでください。――→ 発火の恐れがあります。 可燃物や可燃性ガス、揮発性の高いもの
注意	雨水のかからない湿気の少ないところに設置してください。 ――→ 湿気が多いと絶縁が劣化して、感電の恐れがあります。
	本体は電源コードを踏んだり、ひっかけたりしないように設置してください。 ――→ 電源コードが破損して、感電の恐れがあります。
	電源コードを加工したり、無理に変形させたりしないでください。――→ 発火や感電の恐れがあります。
	本体を積み重ねないでください。 ――→ 転倒してケガをする恐れがあります。



使用するとき

警告		炭酸飲料は絶対に温めないでください。――→ 破裂する恐れがあります。
		運転中は「ヒーター棚」に手を触れないでください。――→ ヤケドの恐れがあります。
		栓を開けた飲料など「湿気の出る物」は温めないでください。――→ 感電の恐れがあります。
		飲料容器がぬれている場合はよくふきとって入れてください。――→ 感電の恐れがあります。
		ぬれた手で電源スイッチを操作しないでください。――→ 感電の恐れがあります。
注意		牛乳や食品は温めないでください。――→ 品質が劣化する恐れがあります。
		「コールド専用品」の表示がある飲料は、温めないでください。――→ 品質が劣化する恐れがあります。
		品質保持のために「先入れ先出し販売」を行ってください。――→ 品質が劣化する恐れがあります。


お手入れのとき、移動するとき

警告		電源スイッチ部には水や洗剤がかからないようにしてください。 ――→ 照光部(ツマミ)が変質して、感電の恐れがあります。
		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。 ――→ 感電の恐れがあります。
		万一、本体を落としたり破損した場合には、ただちに使用を停止して点検を受けてください。 ――→ 内部の電気配線が破損している場合は、感電や発火の恐れがあります。
注意		電源コードを引っ張って電源プラグを抜かないでください。 ――→ 電源コードが破損して、感電や発火の恐れがあります。
		庫内の飲料を入れたまま本体を移動しないでください。――→ 中の飲料が落下してケガの恐れがあります。

正常に作動しないとき

警告		専門の修理業者以外の方は、絶対に分解したり修理は行わないでください。 ――→ 発火したり、異常動作してケガの恐れがあります。
注意		飲料が異常に「あつい」ときは、使用を停止してください。 ――→ ヤケドの恐れがあります。「サービス窓口」までご連絡をください。(10ページ参照)

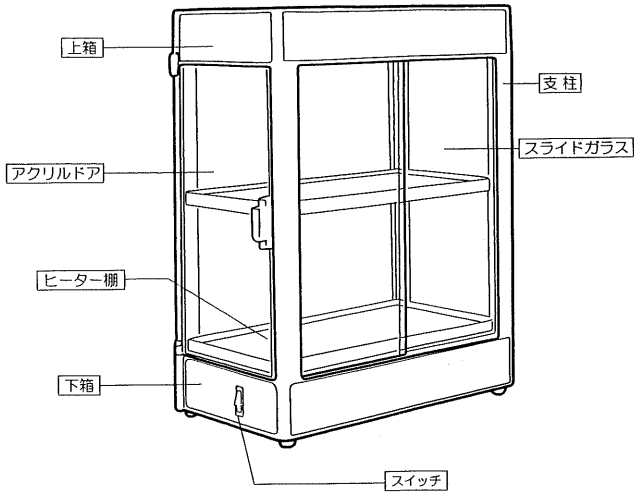
ご使用にならないとき

注意		湿気の少ないところに保管してください。――→ 絶縁が劣化して感電の恐れがあります。
----	---	---

2

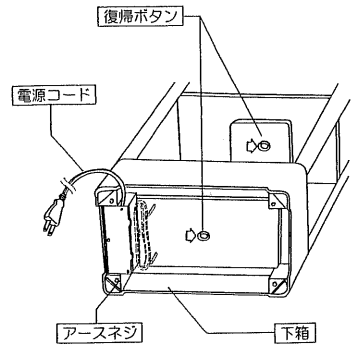
各部の名称と機能

CW36-R2

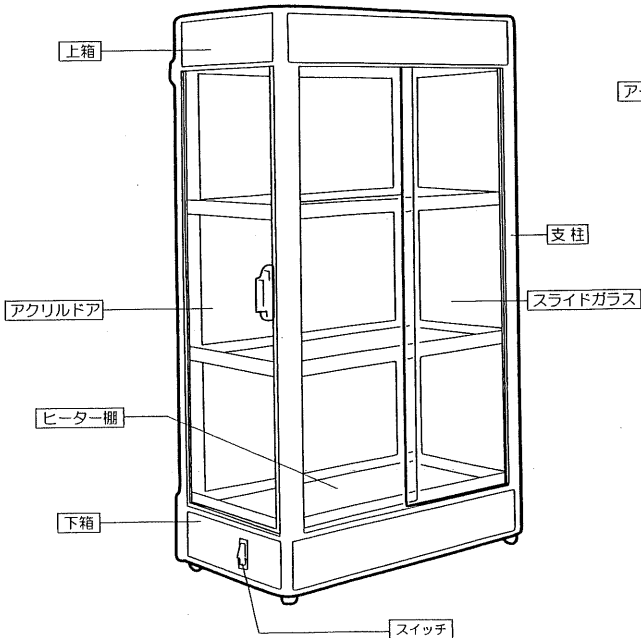


安全装置（復帰ボタン）

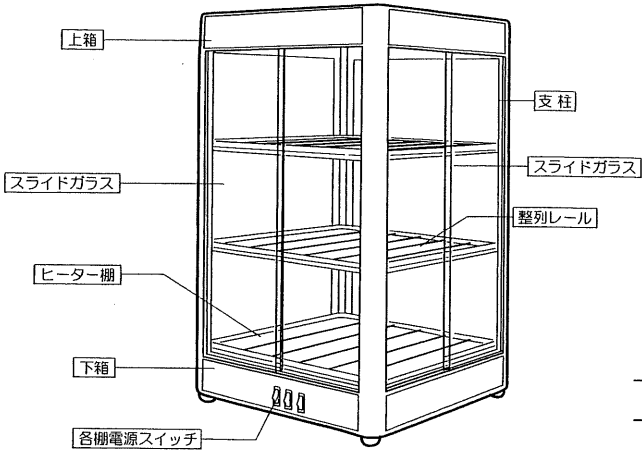
詳しくはP7をご覧ください



CW54-R3

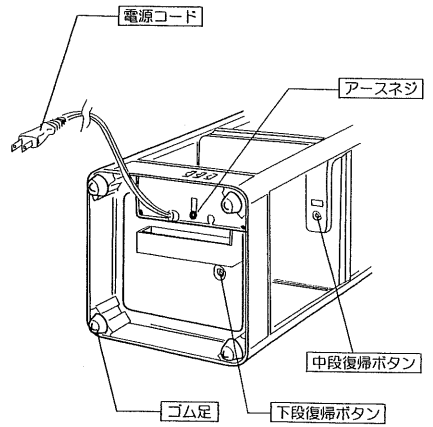


CW108-L3

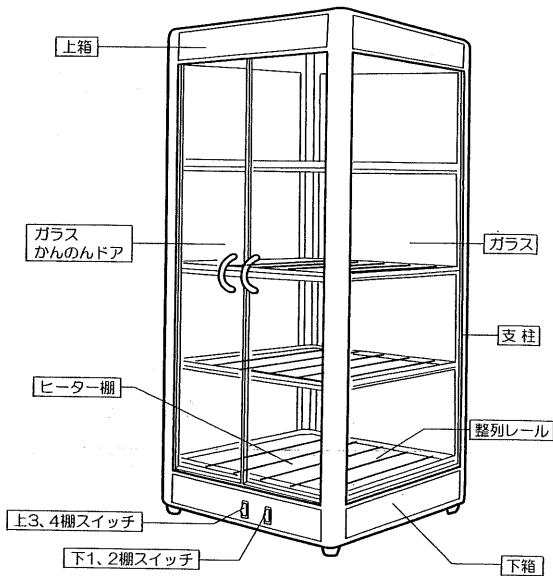


安全装置 (復帰ボタン)

詳しくはP7をご覧ください



CW144-L4



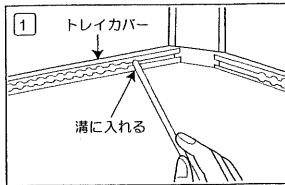
整列レールの取り付け方

CW108-L3、CW144-L4のみ

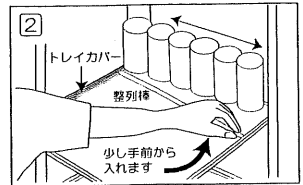


整列棒

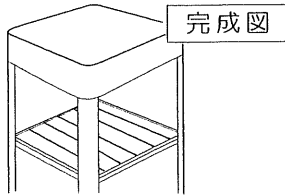
(CW108-L3 15本)
(CW144-L4 20本)



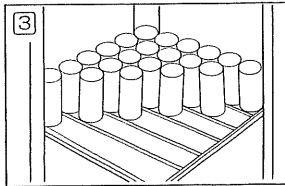
まず、トレイカバーの内側の穴に整列棒の片端を差し込みます。



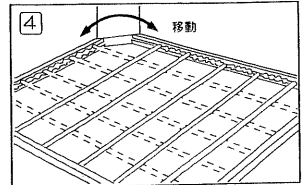
次に、図のように少し手前から、奥にずらすように入れてください。



完成図



缶の大小にあわせて棒をセットしてください。

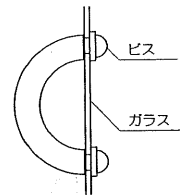
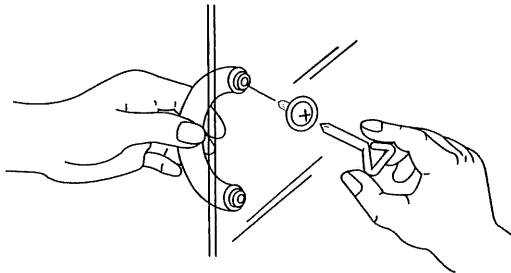


なお、棒は取り出しの方向により点線方向にもかえられます。

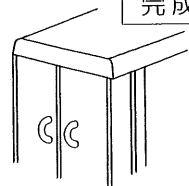
取っ手の取り付け方

CW144-L4のみ

あまり強く締めすぎると取っ手が破損することがあります。



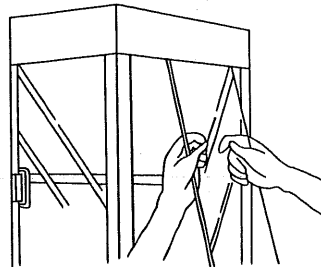
完成図



ガラス戸の取り付け方

CW36-R2、CW54-R3
CW108-L3のみ

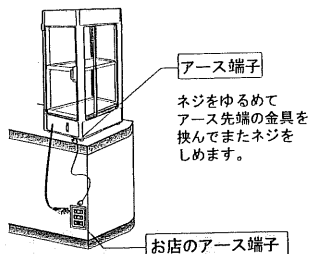
ガラス戸を上箱のレールに入れ
次に下箱のレールにはめてください。



3

カンウォーマーの設置

- ① 本体は水平で、段差のない丈夫な台の上に設置します。
- ② 電源プラグをコンセントに接続します。(AC 100V)
- ③ アース線は、本体アース端子のネジをゆるめはさみ込んで取り付けます。
- ④ アース線の反対側の先端部分は、お店のアース端子に取り付けます。



❗	<p>本体は下記の場所には設置しないでください。――→ 本体の劣化を早めます。</p> <p>雨のかかる、高温多湿なところ。 外部からの熱の影響を受けるところ。(オープン、蒸し器、冷凍ケースから離す。)</p>	
⊘	<p>アース線は下記のものには接続しないでください。 ――→ アースが不完全となり、感電の恐れがあります。</p> <p>ガス管・水道管・アンテナ端子・電話端子・避雷針</p>	

4

カンウォーマーの使い方

使用上のご注意

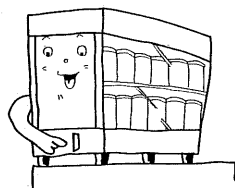
警告	<p> 炭酸飲料は絶対に温めないでください。――→ 破裂する恐れがあります。</p> <p> 運転中は「ヒーター棚」に手を触れないでください。――→ やけどの恐れがあります。</p> <p> 栓を開けた飲料など「湿気の出る物」は温めないでください。――→ 感電の恐れがあります。</p> <p> 飲料容器がぬれている場合はよくふきとり入れてください。――→ 感電の恐れがあります。</p> <p> ぬれた手で電源スイッチを操作しないでください。――→ 感電の恐れがあります。</p>
注意	<p> 牛乳や食品は温めないでください。――→ 品質が劣化する恐れがあります。</p> <p> 「コールド専用品」の表示がある飲料は、温めないでください。――→ 品質が劣化する恐れがあります。</p> <p> 品質保持のために「先入れ先出し販売」を行ってください。――→ 品質が劣化する恐れがあります。</p>

使用方法

- ① ヒータートレイに缶飲料を全数入れてください。

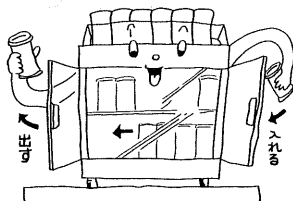
缶飲料を全数入れてからスイッチを入れたほうが早く温まります。

- ② 電源プラグをコンセントに接続します。(AC 100V)
- ③ スイッチを「入」に入れると電源ランプがつかます。
- ④ あとは全自動で温まります。



上手な販売の方法

- ① 4面扉ですので、どこからでも取り出せますが、取り出す方向と補充する方向をあらかじめ決めておきますと温まったものから販売できます。
- ② ヒータートレイ（棚板）上の商品はこまめに補充した方が早く温まります。



5 安全装置について

過昇防止装置（復帰ボタン式）

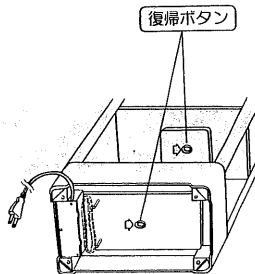
トレイの上に飲料が少ないと、トレイ温度が「異常にあつく」なることがあります。これを防ぐため、過昇防止装置が働いて電源が切れるようになっています。

リセットのしかた

温まらないヒーター棚の「復帰ボタン」を指で押してください。「復帰ボタン」は、サーモホルダーの中央の孔の中にあります。サーモホルダーは、各ヒーター棚板の下側にあります。

最下段の「復帰ボタン」を押す場合

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 庫内の飲料を全部取り出します。
- ③ 右図のように寝かせて「復帰ボタン」を押してください。（ガラスの破損に気をつけてください。）



上記の方法で直らなかつたり、1日に何度も過昇防止装置が働く場合は、サービス窓口へご連絡をください。（10ページ参照）

6 お手入れのしかた



外装・内装のお手入れ

乾いた雑巾等で軽くふいてください。
ひどい汚れの場合は中性洗剤でふきとってください。

ヒーター棚のお手入れ

仕上げのワンポイントアドバイス

掃除の後で、中性洗剤を少し含ませた布でプラスチック部分をふいてください。
（静電気防止になり、汚れが付きにくくなります。）

乾いた布でふいてください。
（洗剤や水でふくと滑りが悪くなる場合があります。）



下記のものを使用しないでください。――→ 本体が傷ついたり劣化します。

ブラシ、粉石けん、熱湯、ベンジン、シンナー、酸、アルカリ洗剤



電源スイッチには、絶対に水、洗剤をかけないでください。

――→ 照光部（ツマミ）が変質して、感電の恐れがあります。

7

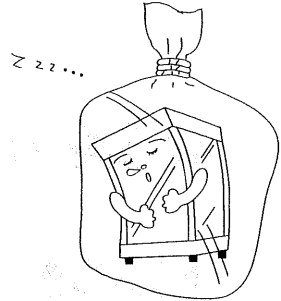
ご使用にならない場合

ご使用にならない場合

スイッチを「切」にします。
電源コードを抜いて、運転を止めてください。

長期保管される場合

ビニール袋やダンボール箱に入れます。
湿気の少ないところに保管してください。



8

仕様表

型式名称		CW36 - R2	CW54 - R3	CW108 - L3	CW144 - L4
収納 本数	ペット 280ml	20本 2列×5本×2段	30本 2列×5本×3段	75本 5列×5本×3段	100本 5列×5本×4段
	缶 190ml 250ml	36本 3列×6本×2段	54本 3列×6本×3段	108本 6列×6本×3段	144本 6列×6本×4段
外形寸法 (mm) (幅)×(奥行)×(高さ)		205 × 365 × 465	205 × 365 × 625	390 × 390 × 630	390 × 390 × 795
本体重量		約5 kg	約8 kg	約14 kg	約20 kg
定格消費電力		AC100V 310W	AC100V 465W	AC100V 615W	AC100V 820W
扉方式		2面スライド/2面ドア		4面スライド	2面かんのん
温度制御方式		各棚独立自動方式			
設定温度		55℃±4℃ (外気温20℃のとき)			
加熱方式		ホットプレート式			
安全装置		過昇防止装置 (復帰ボタン式)			
材質		HIPS樹脂・ボンデ鋼板・アクリル・ガラス		HIPS樹脂・ボンデ鋼板 ガラス	HIPS樹脂・ボンデ鋼板 強化ガラス
コードの長さ		2m			
付属品		なし		整列レール	整列レール、取っ手

※仕様は、製品の改良などにより変更となることがあります。

修理の依頼をされる前に、下記の項目をお試ください。直る場合がございます。
また何度も同じ症状がでる場合には、サービス窓口にご相談ください。(10ページ参照)

「落下した」、「焦げ臭い」、「煙が出た」

⇒ 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、サービス窓口までご連絡をください。
(10ページ参照)

「温まらない」

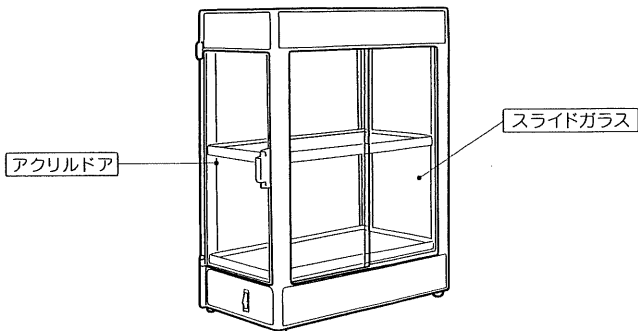
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ⇒ コンセントを差し込んでください。
- 電源スイッチが「切」になっていませんか？ ⇒ 電源スイッチを入れてください。
- 過昇防止装置が働いていませんか？ ⇒ 復帰ボタンを押して、様子をご覧ください。
(7ページ参照)
- お店のブレーカーやヒューズが切れていませんか？ ⇒ ご自分で直せない場合、お近くの電気会社に修理を依頼してください。

「あつすぎる」または「ぬるすぎる」

- 飲料が傾いたり、横になっていませんか？ ⇒ 飲料をきちんと立てて入れなおしてください。
- オープンなどの他の熱源のそばで使用していませんか？ ⇒ 他の熱源から5cm以上離してお使いください。
- 吹きさらしの場所に置いていませんか？ ⇒ 外気を遮断するようにしてください。
- 電源を入れてから1時間以上経過しましたか？ ⇒ 加温の途中です。もう少しお待ちください。

「ガラスが割れた」

⇒ サービス窓口(10ページ参照)までご連絡をください。



● 修理をされる前に

前ページ（9ページ「困ったときは」参照）の内容を必ずご確認ください。
それでも直らないときは、サービス窓口（下記）にご連絡をください。

保証期間中は、保証書の規定に従って無償にて修理をいたします。

保証期間が過ぎている場合は、部品代と修理費をご負担いただいで修理をさせていただきます。

● 製品の保証

次のページが保証書になっております。

保証書の保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

補修部品の保有期間は、該当機種製造中止後5年間です。

下記の連絡事項を今すぐご記入下さい。（保証を受けられるときに必要になります。）
なお、太線枠内の数字は保証書（次のページ）にも書き写しておいてください。

修理依頼のしかた

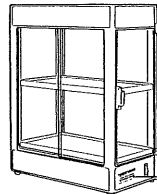
サービス窓口（下記）にご連絡をください。

サービス担当者が、下記の「連絡事項」を順番にお伺います。

連絡事項	①店名	②店コード	
	③電話番号	④担当者名	
	⑤所在地		
	⑥故障内容		
	⑦機種名	⑧お買上日	年 月 日
	⑨製品番号	— □ □ □ □ □ □ □ □	

ハイフン前の英数文字を記入

ハイフン後の6ケタの数字を記入



サービス窓口



日本ヒーター販売株式会社

顧客サービス課

フリーダイヤル

0120-009-187

FAX

03-3768-8222

〒143-0016 東京都大田区大森北1-16-6 YGビル2F

（年中無休）何でもお気軽にご相談ください。

保証書

「カンウォーマー」をお買い上げいただきましてありがとうございます。
お手数をおかけいたしますが、下記の空欄へのご記入をお願いいたします。
保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

品名	カンウォーマー	機種名	
製品番号			

※ 製品番号の記載位置は、10ページの「製品の保証」を参照してください。

お買上日	年 月 日	保証期限：お買上日より満1年間
------	-------	-----------------

お名前または名称	
所在地	
電話番号	

保証内容 (必ずお読みください)

● 無償修理の範囲

保証期間中、万一品質及び製造上の不備による故障が生じた場合については、無償にて責任をもって修理いたします。

● 有償修理の範囲

保証期間中でも、次の場合の修理は実費有償を申し受けますのでご了承ください。

1. 取扱い不適当による故障又は損傷の場合。
2. 部品の消耗、取扱いミスの場合。
3. 移転等による輸送上の故障の場合。
4. 天災地変、異常電圧等による故障、損傷の場合。
5. 当社関係サービスマン以外の方が修理、改造された部分でその修理改造が不適当であった場合。
6. 離島等、遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
7. 本証書のご提示がない場合。
8. 以上の外、保証期間外の場合は当社規定のサービス料を申し受けます。
9. 本証は日本国内においてのみ有効です。



日本ヒーター機器株式会社

ヨイヒーター

☎ 03-3768-4111(代) FAX 03-3768-8222

〒143-0016 東京都大田区大森北1-16-6 YGビル2F

ホームページアドレス：<http://www.heaterkiki.co.jp>